

住民協働を進めるための役割

自らまちづくりの主体として協働事業に参加し、「町民との協働によるまちづくり」を推進するためには、それぞれの主体が次のような役割を担うことが大切です。

1 町民（個人）の役割

(1) 市民活動・社会貢献活動への参加

自分の持つ知識や能力を市民活動やボランティアなどの社会貢献活動に生かすことが大切です。

(2) 地域活動への参加

地域住民一人一人が地域に関心を持ち、自分の住む地域の活動（行政区・自治会活動等）に積極的に参加することが大切です。

(3) 情報の収集

まちづくりに関する各種イベントや行政が開催する説明会など、様々な「場」に積極的に参加し、まちの情報を収集することが大切です。

2 行政区・自治会等の地域コミュニティの役割

(1) 地域の中での組織づくり

町民の一番身近な生活の場として、行政区・自治会は、防災、防犯、福祉、環境など、日常のあらゆる分野において重要な役割を担っているため、さらなる組織の強化が大切です。

(2) 住民同士の交流

少子高齢化や都市化の進展等の要因から、地域の行事が次第に失われつつあります。地域住民が参加しやすい催しを開催するなど、住民同士

の交流機会を提供することが大切です。

(3) 地域の課題解決

多様化、複雑化するニーズや地域の課題に対して行政だけで対応することが難しくなっています。地域の課題について自ら考え、行動し、解決していくことが大切です。

3 ボランティア団体やNPOの役割

(1) 専門的知識や情報の活用

自らが持っている専門的知識や情報、経験を様々な機会に活用することが大切です。

(2) 活動の場の提供

自らの活動状況等を積極的に発信しながら、町民に活動の場を広く提供することが大切です。

(3) 活動の強化・拡大

いろいろな催しに参加し、他団体とのネットワークを築きながら、自らの活動を強化・拡大していくことが大切です。

4 企業・事業者の役割

(1) まちづくりへの参画

企業・事業者も地域の一員として、積極的にまちづくりに参画していくことが大切です。

(2) 社会貢献活動のための環境づくり

ボランティア休暇の整備など、従業員が社会貢献活動をしやすい環境整備を図ることが求められます。

(3) 地域活動・市民活動との連携・支援

行政区、自治会等の地域活動や市民活動と連携を図りながら、様々な活動を展開するとともに、地域活動や市民活動に対して人的支援や情報、技術等を提供し、活動を支援することも大切です。

5 行政の役割

(1) 情報の提供・共有

地域活動や市民活動の状況を的確に把握し、町の協働事業の計画や進捗状況とともに情報提供するなど、市民活動団体等と行政とが情報を共有できるよう努めます。

(2) 人材の育成

各種研修会の開催など学習の場を提供し、町民や町職員に必要な知識の習得を促し、協働の担い手を育成するよう努めます。

(3) 町職員の協働意識の醸成

「町民との協働によるまちづくり」を推進するためには、職員一人一人が住民協働の重要性を理解し、協働意識を高めます。

(4) 普及啓発

町民に対して住民協働に対する理解と実践することの重要性を普及するため、あらゆる機会をとらえた啓発活動を行います。